

藤屋 GINZANONSEN FUJIYA



400年の歴史を持つ銀山温泉、現在14件の木造3階建て旅館が川を挟んで軒を連ね、藤屋はその中心部に位置しています。銀山温泉の景観の要となっている藤屋は、多くの人が慣れ親しんだ銀山の街並をまもり続けるために、旧藤屋の形状をかえてません。建替えではなく改修という方法により、木造3階建ての街並を次代に継承していきます。

For over 400 years, Ginzan Hot Spring has maintained its atmosphere of a traditional hot spring resort. Fujiya Inn is located in the center of town, now boasting a newly remodeled building offering all of today's modern conveniences—a perfect blend of the traditional and the new.



ステンドグラス

幅15m×高さ2.7mのステンドグラスは全てフランスの サン・ゴバン社の手ふきガラスに、ステンドグラス作家 の志田政人さんが腐食加工を施しています。ステンドグ ラスを建材として使用する際には3mmの手ふきガラスに 工業用ガラスを裏打ちするというのが一般的ですが、サ ン・ゴバン社創立700年以来初めてという5mmの手ふき ガラスを実現することで、ステンドグラスのみで強度を もったガラススクリーンが可能となりました。ガラスの 色は淡い緑で、中世において最も厳格と言われたシトー 派修道士たちが、当時の究極の「透明ガラス」を追求し てたどり着いた「ヴェールダルト」と言われる色です。 完成した手ふきガラスに、フランスの教会のステンド グラス復元にも使用されたフッ化水素酸の腐食技術を用 いて表面を荒らしています。荒らした表面は空気中のチ リやホコリの作用を生かすことでがガラスの表面に様々 な腐食を作り出しました。

Stained Glass

The exquisite stained glass running the entire length of the ground floor was hand-blown in France under the direction of glass specialist Masato Shida. Each pane was carefully made by the Saint-Gobain

Company utilizing techniques from 700 years ago.



簣虫籠

細い竹のスクリーンは簣虫籠と呼ばれるもので、 大分県の真竹3万本を1本あたり約40本に細かく割き、計120万本を一本一本現場で固定しました。 金沢の棟梁、中田秀雄さん親子が3ヶ月半かけて完成させました。一般的に簣虫籠とは4mmに割いた竹を糸で結びながら製作していきますが、藤屋の簀虫籠は4mmに割いた竹を1本ずつ接着剤を併用しながらピンで木製の下地に固定しています。

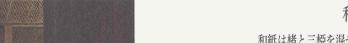
D 1 0

Bamboo Screen

The thin vertical strips of bamboo seen throughout the inn are an integral part of the interior decor.

30,000 poles of bamboo from Oita Prefecture on the island of Kyushu were carefully divided into 1,200,000 4mm width strips and then attached to sectional frames and assembled by master craftsman

Hideo Nakata and his son.



和紕

和紙は楮と三椏を混ぜた越前の手漉き和紙。

「落水」という手法で、漉いている間に水を上からかけることで表面に凹凸を作り出しています。建具の和紙は壁の和紙をさらに薄くし、麻をつなぎにすることで、強度を保ちつつ透過性を高めています。割り付けは、壁の和紙が全て450×1200mm、ジョイントは縦が突付け張り、横は重ね張りです。建具の和紙は450×2500mmで突付けの太鼓張りです。



Japanese paper

The Japanese paper found on almost all of the surfaces in the inn is handmade Echizen Japanese paper. During the papermaking process, water is sprinkled on the paper from above, which gives it a distinctive uneven surface when completed.





この建築を設計するにあたって、いかに重ね合わせるかを ずっと考えていました。時間を重ね合わせていく事、空間を 重ね合わせていく事です。

薄いフィルターを使って、フィルターのこちら側と向こう側を重ね合わせていく仕掛けを作りました。中田秀雄さんの手による簀虫籠と呼ばれる竹製のフィルター、志田政人さんの手による「ヴェールダルト」と呼ばれる中世の工法による薄い緑色のステンドグラスのフィルターです。どちらもとても繊細なフィルターなので、どうぞ大事にしてあげて下さい。弱い物達を大事にする気持ちが、次から次へと時間をかけて重ね合わされていくと、物はさらに深い輝きを発しはじめるはずです。

When designing Fujiya Inn, I developed the concept of layers, both in time and space. I devised a layered effect in the architecture by using fine filters. These filters employed the craftsmanship of Mr. Hideo Nakata, who made the bamboo screens called "sumushiko", and also the work of Mr. Masato Shida, a stained-glass expert who used traditional techniques to produce the light-green stained glass called "verdâtre". Both are delicate filters that require special care to make and to maintain. But it is this careful treatment that helps these delicate structures to mature, and, after time, to radiate a rich glow.

Kengo Kuma

